

# お知らせ

## ◆日付変更のお知らせ

今年度「周作忌」は10月2日(土)、オンラインで参加できます  
前号でお知らせした「周作忌」の日付が変更になりました。

今年の「没後25年・周作忌」は、遠藤周作命日の9月29日ではなく、10月2日(土)に、会場参加&オンラインのハイブリット方式で行われます(会場は、慶應義塾大学三田校舎内・東館6階G-Lab)。

昨年は感染症拡大防止のため中止でしたので、今年こそぜひご参加ください。申込方法等については1面「周作忌のお知らせ」をご参照ください。

## ◆「遠藤文学原点の旅」と、「周作クラブ・懇親会」について

新型コロナウイルス感染拡大防止のために延期・中止となった昨年の「遠藤周作・原点の旅」は、今年の開催も見送られることになりました。かわりに、オンラインによる「懇親会」を計画し、7月3日にその第1回を行ないました(本報1、2面参照)が、ひきつづき年内にも第2回の「懇親会」を開催の予定ですので、ご期待ください。

## ◆周作クラブ会員限定

### 『遠藤周作事典』申込方法

鼎書房 4月15日刊行  
責任編集 川島秀一・山根道公  
遠藤周作の人と文学の全貌を明らか

にする、560ページにおよぶ大事典です。「周作クラブ」も項目の一つとして入っています。

周作クラブ会員で御購入を希望の方は、鼎書房へ直接お申込みください。その場合の料金は、定価(10,450円)の2割引き(8,360円)+送料実費となります。お申し込みはフアクス(03・3654・1064)か、Eメール(info@kanae-shobo.com)でお願いします。

## ◆新刊予定のお知らせ

『秋のカテドラル 遠藤周作初期短篇集』(10月刊行予定)  
『誘惑 薔薇色の門 遠藤周作初期中篇』(11月刊行予定)  
いずれも河出書房新社より、各々予価1,980円(税込)。

これまで単行本未収録であった貴重な作品を発掘。芥川賞受賞直後の、若き日に発表された幻の短篇、中篇の数々を収録。解題・解説は今井真理。お問合せは、河出書房新社編集部、太田美穂まで。m-ota@kawade.co.jp(電話) 03・3404・8611 (FAX) 03・3404・1377

## ◆遠藤周作没後25年講座

遠藤文学が次世紀に遺したものを講座名「文章で表現する技術」(10~12月期)

※今期はオンラインでの参加も可。  
講師 加藤宗哉  
日時 全3回  
10月8日(金)、11月12日(金)、12月10日(金)  
いずれも13時~14時30分

会場 朝日カルチャーセンター新宿  
受講料 会員10,395円  
一般13,695円

申込先 朝日カルチャーセンター新宿  
03・3344・1945  
東京都新宿区西新宿2の6の1 新宿住友ビル10階。最寄り駅は都営大江戸線「都庁前」駅、もしくはJR「新宿」駅西口。

## ◆「会報」の原稿募集

会員の皆さんの原稿を募集します。900字(半ページ分)あるいは1800字(1ページ分)。遠藤周作の人と作品について、あるいは遠藤文学との関わりなど何でも結構です。

なお、原稿は必ず下記「周作クラブ」宛てに郵送してください。掲載の際にはご連絡差し上げます。

## ◆「周作クラブ」会員募集

「周作クラブ」では会員を募集しています。遠藤文学ファンはもちろん、これから読んでみようという方々も大歓迎です。年会費は3,000円。入会金はありません。年4回発行の「会報」が送られるほか、会が主催する「文学セミナー」や遠藤作品の足跡を訪ねる「遠藤文学・原点の旅」へ参加できます。新年会、各種懇親会へのご案内もお送りします。下記「周作クラブ」まで、ハガキかEメールでお申込みください。折り返しご案内の資料と会費の振込用紙をお送りします。

なお、当クラブでは昨年より財政健全化のための「協力金」をお願いしています。一口1,000円で、何口でも結構です。ご協力いただければ幸いです。

## ◆編集後記◆

▼中学生のころ陸上競技の選手でした。浦和市の大会で走り高飛びと走り幅跳びに優勝しましたが、県の大会では6位入賞がやっとでした。

▼高校時代から山登りを始めました。登山が僕の人生を変えたといつていいでしょう。学生時代は春夏秋冬、多い時には年に百日も山に行っています。冬山で寝袋の中に登山靴を抱いて寝たこともあり。テントの中とはいえ、凍って履けなくなってしまうからです。

▼傘寿を前にして、さすがに山に行かなくなりしましたが、山への思いは変わりません。興味をお持ちの方はぜひ、小著の名山シリーズ(『名山の日本史』『名山の文化史』『名山の民俗史』)いずれも河出書房新社)をぜひお読み下さい。

▼編集後記が個人的な思いになって恐縮です。本号の巻頭記事は、この時期ならではのオンライン懇親会についてです。とはいえ僕は、パソコンを持っておらず、原稿用紙のマス目をペンで埋めるというアナログ人間です。いずれ去るのみ、ですね。(颯)

## 「周作クラブ」第84号

2021年8月発行

■発行人 加賀 乙彦

■編集人 高橋千劍破

■副編集人 亀岡 園子

■編集部 一田佳希、大原雄、近藤恭弘、高木香織、清水優子

■発行所 東京都世田谷区上馬4-29-17 加藤宗哉事務所内「周作クラブ」

Eメール Shusaku\_club@yahoo.co.jp